

土庄町のエンジェルロード

「恋人の聖地」全国2位

県内初入賞

観光地の活性化や少子化対策を目的に全国224カ所の自治体や民間団体などが取り組む「恋人の聖地」の中から、コンセプトに合った活動を顕彰する「恋人の聖地観光交流大賞」の授賞式が29日、東京都内であり、土庄町のエンジェルロードが2位となる「JTB特別賞」に選ばれた。景観を生かしたロマンチックな雰囲気づくりや地域と協力したイベントの推進などが高い評価を受けた。同賞の受賞は、県内の自治体や団体では初めて。

景観生かした雰囲気評価

恋人の聖地は、NPO法 発掘して磨きをかけようと人地域活性化支援センター 2006年に立ち上げ、15（静岡市）が「プロポーズ 年に「観光交流大賞」を設けにふさわしいスポット」を置いた。今回は全国から71

件の応募があり、書類審査で絞られた10件が授賞式で表彰された。

エンジェルロードは干潮の際、海の中から砂の道が現れ、四つの島がつながる土庄町の観光名所。恋人同士が手をつないでこの道を通り、島に渡ると結ばれるという「伝説」もあり、国内外から多くのカップルらが訪れている。



「恋人の聖地」として国内外から多くのカップルを集めるエンジェルロード＝土庄町

授賞式ではエンジェルロードのPRに注力している小豆島国際ホテルの木下恭一郎社長（55）が、タレントの菊地亜美さんから表彰状を受け取った。木下社長は「小豆島というブランド力や島民の協力のおかげで受賞できた。これからも世界中から注目されるスポットになるよう心掛けたい」と話していた。



タレントの菊地亜美さん（右）から表彰状を贈られる木下社長（東京部内）